

今年度の学力調査及び体力調査の結果をお知らせいたします。今後は、調査結果をもとに、本校児童の学習や体力の状況に応じた授業や取組を実施していきます。以下は、学力調査、体力調査の結果ならびに分析、改善策です。

【第５学年】 東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果報告（令和元年７月６日実施）

(1) 各教科の調査結果（正答率：％）

教科	教科の内容			
	国語	社会	算数	理科
学年	68.9	67.7	59.0	56.3
東京都	67.6	66.7	60.1	56.8

(2) 観点別の調査結果（正答率：％）

教科	教科の内容							
	思考・判断・表現 (国語：話す・聞く)		技能 (国語：書く)		知識・理解 (国語：言語)		読む	
	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都
国語	67.2	65.3	72.9	70.4	68.1	67.4	68.8	67.4
社会	65.3	63.5	67.2	66.8	71.9	70.6		
算数	44.1	47.2	64.7	65.0	67.4	67.6		
理科	52.5	53.0	67.6	67.0	54.1	55.0		

分析と改善策

<国語>

- 都の平均を上回っています。
- 話す・聞く能力では、授業で自分の考えを発表する機会が多い児童ほど、正答率が高いです。自分の考えを発表する機会を増やし、相手の考えと自分の考えを比べ、自分の考えが深められるようにしていきます。

<社会>

- 都の平均を上回っています。
- 技能の能力において、地図や統計などの基礎的資料を効果的に活用することで、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する活動を取り入れた指導をしていきます。

<算数>

- 都の平均を下回っています。学習理解の差が大きく、４年生までの基礎的な学習の理解の定着が大切です。新しい学習の初めに振り返りの時間を設けて確認し、学習した後も反復学習を行って、学習内容を定着できるようにしていきます。
- 数学的な考え方では、自分の考えを述べている児童ほど、正答率が高いです。与えられた情報や既習事項をもとに、自分の考えを筋道を立てて説明し合う活動を取り入れたり、ICT機器を活用して自分の考えを分かりやすく表現したりしながら、問題解決できるように指導していきます。

<理科>

- 都の平均を下回っています。
- 思考・判断・表現の能力では、観察・実験の結果から分かったことを考察する時間を設定し、小グループで自分の考えを伝え合う活動を取り入れながら、科学的な事象を正確に理解できるよう、指導していきます。

【第６学年】 全国学力・学習状況調査結果報告（平成３１年４月１８日実施）

(1) 国語 評価の観点別の調査結果（正答率：％）

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	全体
練馬東小	65.5	83.9	62.2	86.5	73.5	76
東京都	57.2	73.1	55.4	83.0	55.7	65
全国	57.6	72.3	54.5	81.7	53.5	63.8

(2) 算数 評価の観点別の調査結果（正答率：％）

	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
練馬東小	72.2	84.6	75.8	76
東京都	65.5	77.2	72.7	70
全国	62.2	73.6	70.1	66.6

分析と改善策

<国語>

- 都や全国の平均を大幅に上回っています。
- 読書や新聞に興味のある児童の正答率がすべての分野において高いです。
- 話し手の意図を捉えながら自分の考えをまとめる問題や、目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを答える記述式の無回答率が高いです。
- 教材を読む、意見を述べる場面では、自分の考えをもつだけでなく、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表できるように授業改善に取り組みます。
- 国語で学習したことを、普段の生活の中で活用していると答えた児童の、読む能力の正答率が高いです。読書活動、辞書の活用、自主学習など学習したことを活用できる機会を増やします。

<算数>

- 都や全国の平均を上回っています。
- 算数の公式やきまりについて、そのわけを理解している児童の正答率が高いです。
- 習熟度別の指導を引き続き行い、学習が分からない児童を減らしていきます。正答率が高い児童については、問題を見てみたいと意欲が高まる問題提示を行います。
- 算数の勉強は大切だと考え、家で計画を立てて学習している児童の、数量や図形についての技能の正答率が高いです。今後も、家庭学習の計画を立てさせ、振り返りや反復練習などを行い、学習内容の理解の定着を図ります。

令和元年度東京都児童・生徒体力・運動能力 練馬東小学校結果報告

6月に行われた体力テストの結果について報告いたします。いくつかの種目においては、東京都の平均得点を上回るものもありましたが、どの学年も概ね都平均と同じか下回る結果となりました。

本校は、全体的に柔軟性と筋持久力、投力の面で課題が見られます。下記に各学年の課題と今後の指導重点項目を示しました。今回の課題が少しでも改善できるよう、日々の体育の授業を工夫するとともに、全校で様々な運動に取り組む機会を設けるなど、体力向上を目指し取り組んでまいります。

令和元年度 練馬東小学校 体力の現状

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
握力	9.5	9.6	11.0	10.3	12.3	11.3	14.9	14.1	15.6	16.1	18.0	17.5
都平均	9.0	8.4	10.7	10.1	12.6	11.9	14.4	13.7	16.5	16.1	19.2	19.1
上体起こし	8.6	9.1	12.8	14.5	18.0	14.8	16.5	17.4	19.9	19.1	20.3	20.1
都平均	11.2	10.9	14.1	13.7	16.4	15.8	18.4	17.9	20.1	19.3	21.9	20.6
長座体前屈	24.3	24.2	25.1	31.4	29.1	32.1	27.2	32.1	32.2	36.9	33.2	41.3
都平均	25.7	28.2	27.4	30.5	29.4	33.1	31.4	35.5	33.5	38.2	35.6	41.1
反復横とび	26.3	25.6	31.9	29.5	36.1	32.0	37.6	35.0	43.6	41.1	45.2	43.0
都平均	26.6	25.6	30.5	29.2	34.1	32.3	38.2	36.6	41.9	40.3	45.0	43.0
20mシャトルラン	16.8	14.4	25.5	23.6	34.5	23.1	46.6	33.3	53.4	43.0	49.8	41.2
都平均	17.0	14.0	26.7	20.3	35.0	25.8	42.7	32.4	49.6	39.2	56.7	44.9
50m走	11.7	11.8	10.6	10.6	9.9	10.4	9.9	10.0	9.5	9.7	8.8	9.0
都平均	11.5	11.8	10.5	10.9	10.0	10.4	9.6	9.9	9.2	9.5	8.9	9.1
立ち幅とび	108.3	104.8	126.9	121.5	144.4	129.1	150.0	139.0	162.2	156.3	171.3	164.7
都平均	112.2	104.5	123.6	115.8	134.0	126.2	142.8	135.9	151.9	145.8	162.3	154.6
ソフトボール投げ	6.7	5.5	10.5	7.0	14.0	8.1	18.4	11.7	20.5	11.9	23.8	13.9
都平均	7.5	5.2	11.9	6.9	14.4	8.8	17.8	10.8	21.0	12.8	24.4	14.6

※網掛けの部分は、東京都の平均と比較し、本校の偏差値が上回った種目です。

1年生の結果概要

○男子・女子ともに、握力が都平均より高い水準にあります。また、女子は20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げも都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに、上体起こし、長座体前屈の得点が低く、筋力と柔軟性に課題があります。

筋力と柔軟性の向上を目指します。体づくりの運動遊びをはじめ、体育の授業で体の動かし方を学びます。また、補助運動では筋力やストレッチを意識した動きを取り入れて高めます。

2年生の結果概要

○女子はすべての種目が都平均より高い水準にあります。

●男子は、上体起こしと長座体前屈の得点が低く、筋力と柔軟性に課題があります。

筋力と柔軟性の向上を目指します。腹筋運動や開脚といったストレッチを体育の授業の中に積極的に取り入れて、筋力と柔軟性を高めます。

3年生の結果概要

○男子・女子ともに、立ち幅跳びが都平均より高い水準にあります。また、男子は上体起こし、反復横とび、50m走も都平均よりやや高い水準にあります。

●男子・女子ともに20mシャトルランと長座体前屈の得点が低く、持久力や俊敏性に課題があります。

持久力と俊敏性の向上を目指します。なわとび、持久走などの長時間ねばり強く続ける運動や鬼ごっこなどのすばやい動きが必要な運動を積極的に体育の授業の中に取り入れます。

4年生の結果概要

○男子・女子ともに、立ち幅跳び、20mシャトルランが都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに、反復横跳び、長座体前屈の得点が特に低く、俊敏性や柔軟性に課題があります。

俊敏性と柔軟性の向上を目指します。かけっこやリレーなどのすばやい動きが必要な運動を積極的に体育の授業の中に取り入れます。また、柔軟性を高める運動も取り入れます。

5年生の結果概要

○男子・女子ともに、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅とびが都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに、ソフトボール投げの記録が特に低く、投力に課題があります。

投力の向上を目指します。ボールを使った運動を体育の授業で取り入れ、全力でボールを投げる場面を増やします。その際、体全体を使った大きなフォームで投げることを意識させます。

6年生の結果概要

○男子・女子ともに反復横跳び、50m走、立ち幅跳びが都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに20mシャトルランの記録が低く、持久力に課題があります。

持久力の向上を目指します。なわとびや持久走などの長時間ねばり強く続けていく運動を取り入れます。休み時間に外で遊び、鬼ごっこなどの運動をして持久力を高めます。

<御家庭でぜひ取り組んでほしいこと>

○学校での遊びを含めて、1日60分間は体を動かしたり運動をしたりする（東京都からの目安です）。

○放課後はできるだけ屋外で遊ぶなどの運動の習慣を付ける（東っち広場や休日の校庭開放も御利用ください）。

○できるだけ徒歩で移動する（校庭開放や買い物等）。

<学校全体で取り組むこと>

○休み時間は外遊びを奨励していきます。また、長縄週間やジョギングタイムなど、体を動かす時間を設定します。

○体育の時間では、運動量を十分に確保した授業展開を行います。

○児童の運動意欲を高めるため、運動委員会が企画した遊びを休み時間に実施します。